取扱説明書

EHEIM

エーハイムフィルター2213
ろ材付セット

目次

製品仕様

ヘルツ	50Hz/60Hz 共通
エーハイムコード	2213320
適合水槽	45cm〜75cm(40ℓ〜114ℓ)
流　量	50Hz:440ℓ/h、60Hz:500ℓ/h
最大揚程	50Hz:1.0m、60Hz:1.5m
ホース径	吸水側 12/16mm、排水側 12/16mm
定格電圧	AC 100V　50Hz/60Hz 共通
消費電力	50Hz:5W、60Hz:6W
ろ過槽	容積 3.5ℓ　ろ材コンテナ付き
付属ろ材	活性炭フィルターパッド 1 枚、細目フィルターパッド 1 枚 粗目フィルターパッド 1 枚、エーハイムサブストラットプロ レギュラー　約 0.9ℓ エーハイムメック　約 0.6ℓ
本体寸法	180mm(直径)×354mm(高さ)
適　用	淡水・海水両用

このたびは、エーハイムフィルター2213ろ材付セットをお買い上げいただき、誠に有り難うございます。

●**製品の梱包には、万全を期していますが、通水する前に破損、亀裂などが無い事を点検してからご使用下さい。**

●**始めてセットした時は、セット後30〜60分後にフィルターが正常に作動しているか、水漏れがないかを確認して下さい。また、留守にする前にセットしないで下さい。**

●正しく安全にお使いいただくために、十分に理解してからご使用下さい。
お読みになった後は保存し、必要な時にお読み下さい。

●本製品には**保証書がついています。保証書は必ずご使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているかご確認の上、大切に保管して下さい。**

●P2の「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

安全にお使いいただくために

ご使用前に本書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。誤ってご使用された場合の保証および事故については、弊社では責任を負いかねますので予めご了承下さい。

⚠注　意

火災・漏電事故などを避けるためにお守り下さい。

電源コードやプラグを加工したり、ご使用時にたばねたり、柱に打ちつけたりしないで下さい。決して痛んだまま使わないで下さい。電源コードの交換は構造上不可能です。

- ●電源はAC100ボルトの専用コンセントをお使い下さい。
- ●タコ足配線やテーブルタップ（延長コード）の使用は避けて下さい。
- ●コンセントやプラグ、コードに埃（ほこり）が被らないようにして下さい。
- ●プラグを差し込むときは、隙間が出来ないよう、しっかり押し込んで下さい。
- ●水滴や飛沫がプラグやコンセントを濡らさないようご注意下さい。
- ●痛んだコードは、湿気や水濡れにより火災をおこす恐れがあります。
- ●プラグの刃の部分、刃と刃の間の汚れは定期的に取り除いて下さい。
- ●電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。
- ●引火性のもの（ガソリン、シンナーなど）の近くで使用しないで下さい。
- ●水槽より低い位置でコンセントを使用する場合は、水切り用トラップ（右図）を設けて下さい。

トラップ

水の中に手を入れる時は必ずコンセントからプラグを抜いて下さい。

エーハイムによる事故や故障を避けるためにお守り下さい。

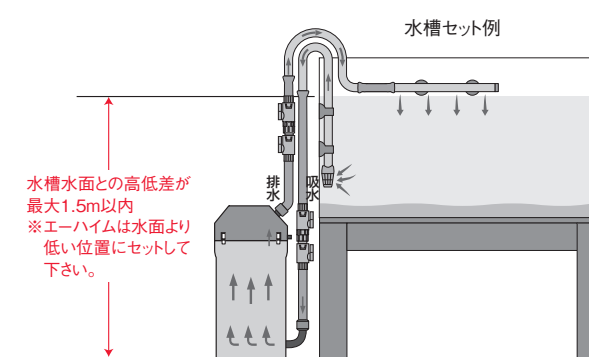
- ●エーハイムは水面より低い位置にあることと同時に、エーハイムの底と水槽水面との高低差が最大150cm以内になるようにセットして下さい。
- ●定期的に各部を掃除し、汚れの付着や目詰まりなどを防いで下さい。エーハイムは水冷式モーターですので、汚れや目詰まりなどは大敵です。特にモーター内部駆動部分の掃除や取付けたスポンジ類の掃除は忘れがちですので本書に従って定期的に実施して下さい。
- ●ろ材はエーハイム専用ろ材を正しくお使い下さい。またろ材は入れ過ぎないで下さい。
- ●弱った魚や小さな魚などが水槽のガラス壁とパイプあるいはストレーナーの間にはさまれる場合がありますので予めご注意下さい。
- ●エーハイムを空運転させないで下さい。故障の原因となります。
- ●ホースは専用ホースを使い、折れ曲がったり、たるんだりしないように正しく取付けて下さい。
- ●エーハイムを運転する前に接続部が正しく取付けられ、水漏れや停滞や逆流などがないかをよく確認して下さい。
- ●本器は日本仕様として製造されています。国内でのみお使い下さい。
- ●フィルターの目詰まり、故障に備えて、エアーポンプによるエアーレーションの併用、または補助フィルターを併用して下さい。
- ●本器は屋内専用です。また屋内であっても高温になったり、凍ったりするような場所に設置しないで下さい。
- ●強度のしっかりした安定した場所に正しく設置して下さい。また、漏水などの時、大変危険ですのでテレビやステレオ、パソコンなど電気製品の周囲に絶対に置かないで下さい。
- ●エーハイムは梱包など万全を期しておりますが、ご使用になられる前に必ず破損など異常がないかをチェックして下さい。破損などが見つかった場合は御使用なさらずにお買い上げ店にお申し出下さい。
- ●適合水槽は魚の数、環境によって異なります。海水魚、大型魚など特にパワーを必要とする場合は、ひとつ大きめの機種を使用して下さい。
- ●稚魚・小型魚がストレーナー部の吸い込み口より小さい場合、吸い込まれることがあります。スポンジプレフィルターを使用するなど、ご注意下さい。

●本製品は品質向上の為、おことわりなく仕様を変更する場合もありますので予めご了承下さい。

エーハイム製品のお取扱い方法・お手入れ方法・修理その他ご不明な点は、機種名をご確認の上、お買上げの販売店又は弊社にご相談下さい。

パッケージの中をご確認下さい。

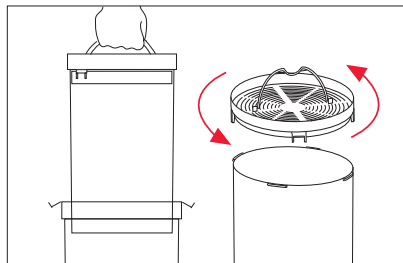
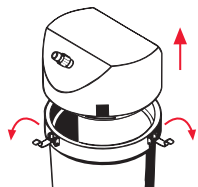
※フィルターの各部品を点検して下さい。特に破損したり紛失しやすいシャワーパイプの止水栓、吸水パイプにつけるストレーナーなどの取扱いには十分気を付けて下さい。

設置場所

エーハイムフィルター2213のモーターヘッド部分が水面より低くなるように置く場所を決めます。ただし、図のように高低差が最大1.5m以内になるようにセットして下さい。なお水槽の横にセットされる場合、モーター最上部が水槽水面より必ず低い位置にあることをお確かめ下さい。

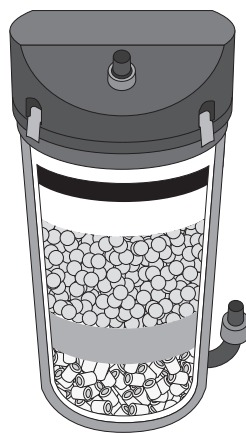
⚠注意　製品の梱包には、万全を期していますが、通水する前に破損、亀裂などがない事を点検してからご使用下さい。

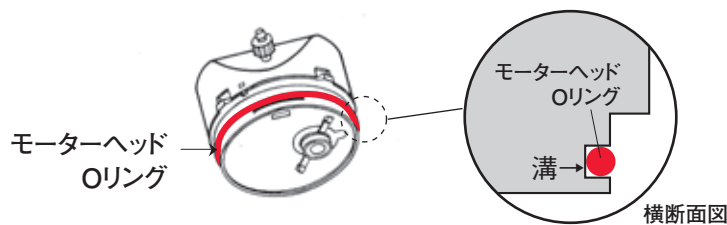
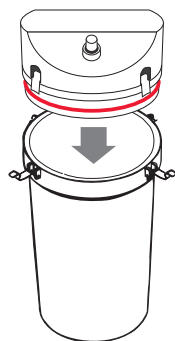
セットの手順

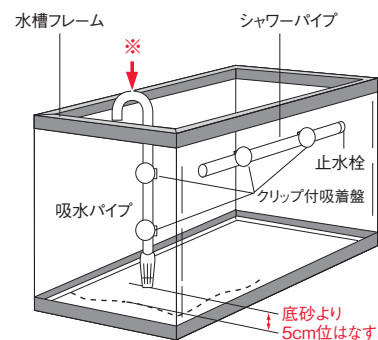
❶ モーターヘッドを取りはずします

4ヶ所のフックをはずし、モーターヘッドをゆっくりと持ち上げてはずします。

❷ ろ材の洗浄/セット部分

フィルターケースよりろ材コンテナを取出し、ろ材コンテナの蓋を反時計回りに回してろ材コンテナの蓋を取外し、コンテナ内のろ材を取出します。（右上図）
取出したろ材を流水で洗い左下図のように戻します。
（サブストラットプロレギュラーと、エーハイムメックはビニール袋より取出して使用します）ろ材コンテナの蓋を時計回りに回して取付け、フィルターケースに戻します。

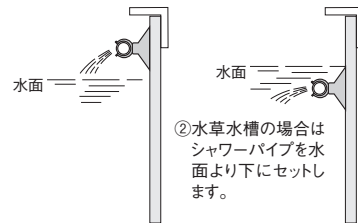
※番号は3ページの写真をご参照下さい。

❸ モーターヘッドのセット

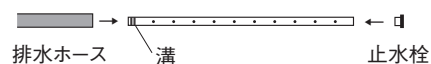
モーターヘッドOリングがモーターヘッドの溝に正しくセットされているか確かめてからモーターヘッドを両手で持ち、フィルターケースに上から押し込むように取り付け、フック（4ヶ所）で固定します。（❶と反対の作業）

❹ 吸水パイプ、シャワーパイプのセット

吸水パイプ、シャワーパイプをクリップ付吸着盤で水槽に取り付けます。エーハイム油膜取りなどのアクセサリーを使用する場合も説明書に基づき設置します。
シャワーパイプは、水槽の大きさや魚の種類に応じて取り付け位置を決めて下さい。その際、シャワーパイプの先端に止水栓をつけて下さい。

シャワーパイプの位置
①魚が酸欠状態を示す場合は、パイプを水面上に出し、シャワーの状態で使って下さい。
別売りのディフューザーにより酸素を補給するのも特に海水魚、大型魚の場合効果的です。

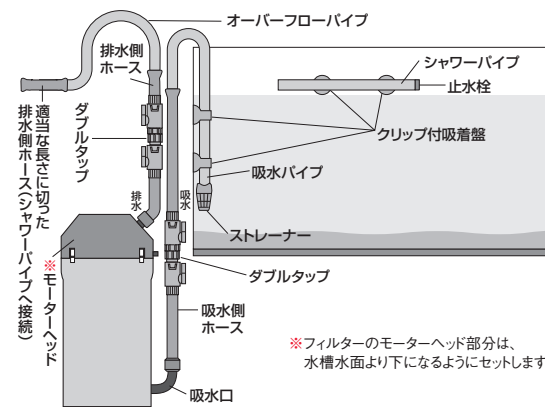
水面

水面

②水草水槽の場合はシャワーパイプを水面より下にセットします。

※吸水パイプが長過ぎる場合、水深に合わせてカットして下さい。
水槽フレームにより、吸水パイプが傾いてしまう場合、別売のアーム（4004560）をご使用下さい。
また水槽フレームの巾が大きすぎて吸水パイプがセットできない場合、図の矢印部をカットしてホースを接続して下さい。

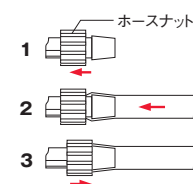
止水栓の取り付け
シャワーパイプの溝が無い側に止水栓を取り付けます。溝のある側へは排水ホースを取り付けます。

吸着盤とクリップの取り付け
イラストのように、クリップはしっかりと吸着盤に取り付けて使用してください。

❺ フィルター本体とダブルタップ（吸・排水側）、吸水パイプ、オーバーフローパイプの接続

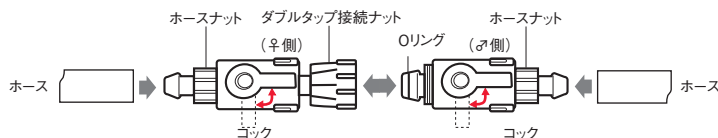
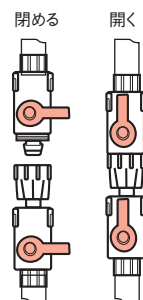
フィルター本体とダブルタップ（吸・排水側）、吸水パイプ、オーバーフローパイプを付属のホースでしっかりと接続します。
この際ホースの長さは水槽に合わせて調節、切口はきれいに切り揃えて下さい。
●排水側ホースはオーバーフローパイプが水槽の縁を超えてシャワーパイプと接続出来る様に長さを決めて下さい。
●パッケージから取り出したホースに折り目がついている場合、折り目のついた部分を熱湯につけて矯正して下さい。
●この時点では、オーバーフローパイプとシャワーパイプは接続しないで下さい。
●商品パッケージ後面に接続に関する詳しいイラストが掲載されております。

※フィルターのモーターヘッド部分は、水槽水面より下になるようにセットします。

ダブルタップ / 吸・排水口とホースの接続

⚠注意1 吸・排水口のホースナットをしっかりと締めて下さい。
吸・排水口のホースナットによる、ホース装着にご注意下さい。
1. 吸・排水口のホースナットを時計回りにまわし、根元まで戻します。
2. ホースを吸・排水口にさし込みます。
3. 吸・排水口のホースナットを時計回りと反対の方向にまわしながら矢印の方向へ閉めます。

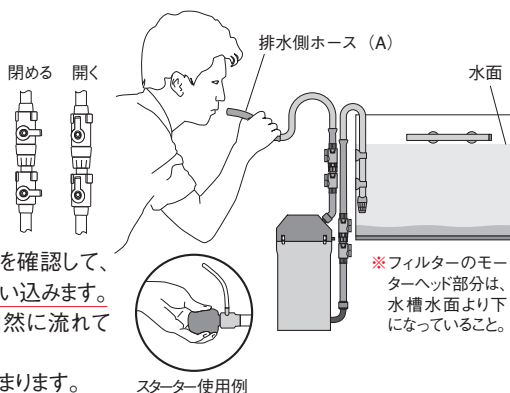
⚠注意2 吸水口を締めすぎるとフィルターケースが割れることがあります。ご注意下さい。

ダブルタップの使用法

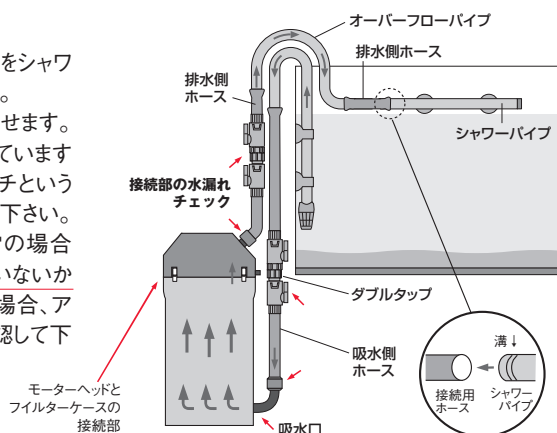
ダブルタップ接続ナットをまわして分離します。
両端にホースを接続し、ホースナットにてしっかり締めます。取り付け方法はP5の⚠注意1を参照して下さい。
♂側のダブルタップの先端にOリングが取り付いているかを確認して下さい。
ダブルタップの♂側を♀側に入れて、ダブルタップ接続ナットをまわし、しっかり締めて下さい。
接続が完了しましたら、よび水にそなえてコックをまわして開けて下さい。

閉める　開く

❻ よび水

シャワーパイプに接続するオーバーフローパイプに取付けた排水側ホース（A）を水面より高くして、水槽の水を吸水ホースを通じフィルター内へ吸い込み（呼び水）ます。フィルターの中の空気を追い出します。スターター（別売り4003540）を使用すると簡単に水を呼び込めます。

（1）エーハイムが水槽の水面より低い事を確認。
（2）ダブルタップが開かれていることを確認。
（3）エーハイムのフィルター内に水が入っていない事を確認して、排水ホース（A）からスターターあるいは口で空気を吸い込みます。
（4）水槽の水は、吸水ホースを通して落差によって自然に流れてきます。（サイフォン作用）
（5）しばらくすると水の流れは水槽の水位の位置で止まります。

注:設置（セット）及び掃除などでよび水を行う場合、フィルターケース内に水が入っていないことを確認して下さい。

❼ シャワーパイプとの接続

オーバーフローパイプの先に付けた排水ホースをシャワーパイプの溝がある側に接続します（右図参照）。
プラグをコンセントに差し込み、モーターを作動させます。フィルター内部やインペラー部分に空気が残っていますと異常音（シャーシャーシャー又は、カチカチカチという音）がします。一度プラグを抜いて又差し込んで下さい。徐々に空気が水槽内へ抜けていきます。（異常の場合P8参照）各接続部（例:矢印部）に水がもれていないかを確認して下さい。アクセサリーを使用している場合、アクセサリーおよび接続部の水もれがないかも確認して下さい。

本製品には電源ボタンはございません。電源プラグの抜き差しにより作動、停止をします。

❽ モーターの作動と確認

商品は、輸送中の揺れや、衝撃などにより、部品などにずれや破損が生じることがあります。
モーター作動30〜60分後、フィルターが正常に作動しているか水がもれていないかを確認して下さい。
また、留守にする前にセットしないで下さい。
シャワーパイプからの水流が強すぎる場合、止水栓をはずすと弱い水流となります。
エーハイムモーター部と水面との高低差が小さい場合や、ろ材が細かい時にモーター部の下に空気がたまることがありますが、異常ではありません。

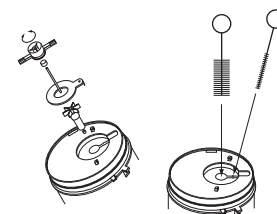
❾ 各種アクセサリー

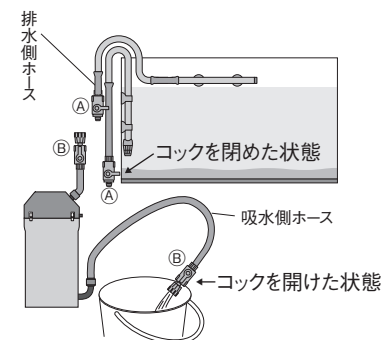
エーハイムではそれぞれの目的に合った便利なアクセサリーを各種ご用意しております。
詳しくは本取扱説明書11ページ、弊社ホームページ（http://www.eheim.jp）をご覧下さい。

日常の点検、手入れ

目づまりや汚れの付着により流水量が低下しないよう定期的に掃除します。
（点検、手入れは、水漏れに備えて、防水シートの上などで作業して下さい。）

ホースやパイプの内側に、コケが多量に見られた時は、ホースクリーナーセット（4005570）、パイプクリーナー（4004551）で、ホース、パイプを掃除しましょう。特に光が当たる場所では、コケが発生しやすくなります。インペラー部分の掃除はろ材の掃除後も水流が目立って少ない時以外は必要ありませんが、水流が弱くなったときは、インペラー部分にゴミや藻類が付着していますので図のように掃除して下さい。掃除の後でモーターヘッドを取り付ける時はOリングが正しい位置かどうか確認して下さい。

エーハイムには、インペラー掃除用のインペラーブラシセット（4009560）があります。図の要領で掃除して下さい。

フィルター掃除の手順

①コンセントをぬき、モーターを止めます。
②両ダブルタップのコック（Ⓐ、Ⓑ計4ケ所）を一度閉め、はずします。
③吸水側ホースのダブルタップⒷを開け、次に排水側ホースのダブルタップⒷも開けてフィルター内の水をぬいたのち（右図）モーターヘッドをはずし、ろ材を取り出して洗います。
※水槽の環境の急激な変化を避けるために、フィルター掃除と水換えは同時に行わないで下さい。水換えの目安は2週間おきに、フィルター掃除は水槽の状態により異なりますので汚れ具合をチェックして行います。
④掃除した後は設置時と同様にセットします。

フィルターパッドの交換

粗目フィルターパッド:	粗目フィルターパッドは汚れやすく、目詰まりしやすいので定期的に洗ってください。交換の目安は6ヶ月。
細目フィルターパッド:	洗浄せず新しいものと交換してご使用ください。交換の目安は1ヶ月。
活性炭フィルターパッド:	交換の目安は2週間。水がきれいになりましたら、取り出してください。

⚠注意　モーターヘッド部とフィルターケース部の脱着は、必ずフィルターケース内の水をぬいてからおこなって下さい。ドライバーなどを使用してモーターヘッドをはずさないで下さい。

⚠注意　設置時、フィルターケース内及び吸水ホース、排水ホース内に水が入っていないことを確認して下さい。

故障かな？と思ったら

現　象	原　因	処　置　方　法
運転開始時の異常音	ダブルタップのレバーが（開）になっていない。	レバーを（開）にします。
	呼び水が不十分なため、水が連続して流入していない。 （不十分な呼び水による流水の停滞）	呼び水を最初から正しくやり直して下さい。フィルター内に水が入っている場合、 もう一度、水を抜いてから呼び水をします。
	モーター最上部が、水面と同等または、高い位置にある。	モーター最上部が必ず水面より低い位置にあるようにします。
	フィルター本体内部の空気残留。	プラグを抜いたり差し込む動作を3～4回くり返す。 軽く本体をゆらし、空気を抜きます。
	インペラー／ドライブマグネットあるいはスピンドルの破損 もしくは装着不完全。	部品を交換して下さい。 主要部品図（P10）を参照下さい。
連続運転中の異常音	10秒以上毎に1回シャーという音がして、排水パイプよりエアーが抜ける。	バクテリアの呼吸や水草の光合成などによって生じる気泡がエーハイム内にたまって排出される音です。 故障ではありません。
	インペラー／ドライブマグネット部の水アカや汚れ、 異物による流水量の低下。	エーハイムは、水冷モーターですので、駆動部に水アカや汚れ等を付着させたまま使用すると 流水量を低下させ、モーターの寿命を短くしてしまいます。 定期的にインペラー／ドライブマグネットやその収納部を専用のインペラーブラシで掃除して下さい。
	インペラー／ドライブマグネットあるいはスピンドルの破損や磨耗。	部品を交換して下さい。
	プレフィルターや吸水パイプに接続したスポンジフィルターや ろ材等の目づまりによる流水量の低下。	プレフィルターや吸水パイプにスポンジフィルターを取り付ける場合は、 特に目詰まりによる流水量の低下に注意し、定期的に掃除して下さい。 流水量が低下した状態で使用しますと故障の原因となります。 なおプレフィルターはエーハイムプレフィルター（4004320）をお使い下さい。
作動しない	運転開始時の異常音を参照。	――
	コードが断線。	――
	モーターヘッドの裏側の、インペラーが入っている場所に、空気が溜っている為 インペラーが空転している。	一度、電源プラグを抜いてモーターを停止させて下さい。 その後、電源プラグを入れ直して下さい。
水流が弱くなった	ろ材の汚れ。プレフィルター類の目づまり。	ろ材の掃除、交換。粗目フィルターパッドは汚れやすく、目詰りしやすいので定期的に洗って下さい。 活性炭パッドと細めパッドは洗浄せず新しいものと交換してご使用下さい。 交換時期は環境にもよりますが、活性炭パッドで2週間、細目パッドで1ヶ月、粗目パッドで6ヶ月です。 水がきれいな状態になりましたら、活性炭パッドを取り出します。
	ホースの折れ曲がり･汚れ、ダブルタップの汚れ。	ホースの矯正（P5参照）または掃除。ダブルタップの掃除。 ホースは折れ曲がりを直し、汚れている場合はホースクリーナーセット（4005570）を使用して掃除して下さい。
水　漏	Oリングのよじれ、装着不良、劣化。	Oリングを正しく装着または交換。
	ホースの結合不全。	ホースとパイプを正しく深く結合させる。各ナットはしっかり締めて下さい。
	吸水口の締めの不完全。	吸水口の締めを確認。（時計回りで締まります。）
	本体の一部の破損。	部品の交換になります。

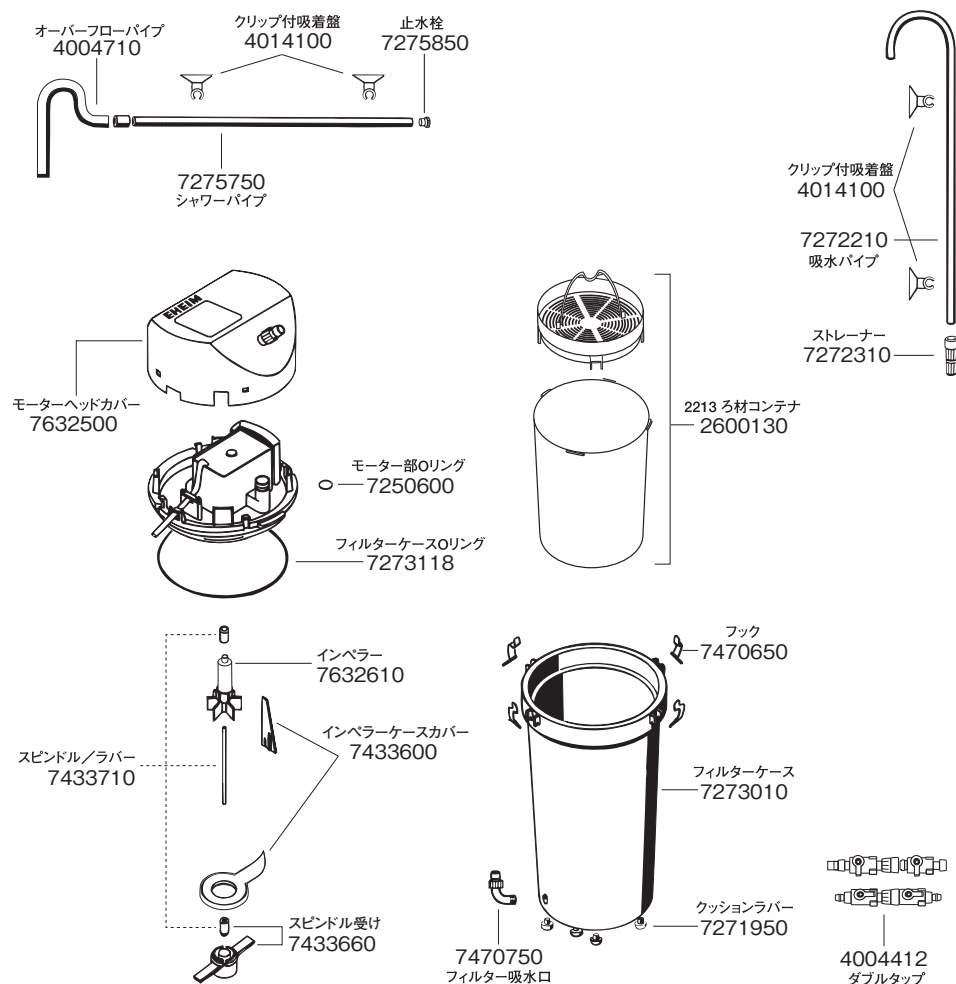
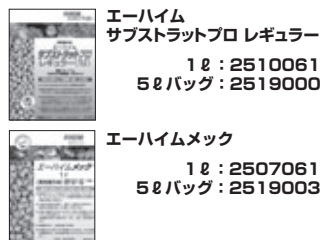
※上記に確認当しない場合は、エーハイム販売店またはエーハイムサービスセンターにご相談下さい。

ご注意!
1. 品質向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。
2. 誤ったご使用方法に起因する損害につきましては責任を負いかねます。
3. 飼育されている魚など生体の病気や死亡、水草の枯れに対する補償は致しかねます。
   予めご了承下さいますようお願い申し上げます。

主要部品図

推奨ろ材

エーハイム サブストラットプロ レギュラー
1ℓ：2510061
5ℓバッグ：2519000

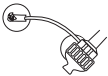
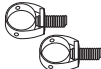
エーハイムメック
1ℓ：2507061
5ℓバッグ：2519003

パッドの交換には

エーハイムフィルター2213 専用 交換パッド

活性炭フィルターパッド	細目フィルターパッド	粗目フィルターパッド
3枚入	3枚入	2枚入
エーハイムコード 2628131	エーハイムコード 2616136	エーハイムコード 2616132

アクセサリー表

エーハイムには目的、用途に合わせて選べる豊富なアクセサリーが用意されています。お持ちのエーハイムフィルターの性能アップに、またフィルター掃除などの作業を簡単にするためにエーハイムアクセサリーをお使い下さい。
詳しくはエーハイムホームページ〈アクセサリー〉をご参照下さい。http://www.eheim.jp

品名	区分	エーハイムコード
ホース(1mにつき)	吸水側	内径12/外径16 4004940
	排水側	内径12/外径16 4004940
ホース(3m)	吸水側	内径12/外径16 4004949
	排水側	内径12/外径16 4004949
ダブルタップ	吸水側	4004412
	排水側	4004412
タップ	吸水側	4004512
	排水側	4004512
エルボーコネクター	吸水側	4014050
	排水側	4014050
ホースケーシング(2ヶ入)	吸水側	4014300
	排水側	4014300
T-ジョイント	吸水側	4004950
	排水側	4004950
フレキシブル排水口	排水側	4004600
エーハイムワセリン	—	7345988
クリップ吸着盤(2ヶ入)	吸水側	4014100
	排水側	4014100
プラスチックパイプ(1m)	吸水側	4004800
	排水側	4004800
ジェットパイプ	排水側	4004700
オーバーフローパイプ	排水側	4004710
ディフューザー	排水側	4003651
ホースバンド(2ヶ入)	吸水側	4004530
	排水側	4004530
ネットバック(フリーサイズ)	—	1550000
スポンジプレフィルター1個入り	吸水側	2615271
パイプクリーナー	吸水側	4004551
	排水側	4004551
ホースクリーナーセット	—	4005570
インペラーブラシセット	—	4009560
油膜取り	吸水側	3535000
プレフィルター	吸水側	4004320
底面直結フィルター	吸水側	3541000
	排水側	3541000
底面オーバーフローフィルター	排水側	3540000
エーハイムアーム	—	4004560

保証書のご確認を

お買上げ日、販売店様の名称、住所、電話番号が記入されているか、必ずご確認下さい。

万一故障した場合には、下記に記載の内容で無料で修理・調整致します。
お買上げの日より保証期間内に故障が発生した場合は、お買上げの販売店に保証書を添えてご相談下さい。

無料修理規定

1. 保証期間内に取扱説明書、貼付シールなどの注意書にしたがった使用状態で故障した場合には、無料で修理・調整致します。
2. 保証期間内無料修理の場合、お買上げの販売店に保証書を添えてご依頼下さい。
3. ご転居等でお近くにエーハイム商品取扱店が無い場合には、弊社エーハイムサービスセンターにご相談下さい。
4. 保証期間内でも、次の場合は有料となります。
   (1) 保証書のご提示がない場合。
   (2) 保証書にお買上げの年月日、販売店名等の記入がない場合。
   あるいは字句を書き換えられた場合。
   (3) 使用上の誤り、他の機器や器具等から受けた損害。
   (4) 不当な修理や改造による故障または損傷。
   (5) 異常電圧を含む電源不適合。
   (6) お買上げ後の移動、落下などによる故障及び損傷。
   (7) 火災、地震、風水害、落雷など天災地変による故障または損傷。
   (8) 飼育動物による故障または損傷。
   (9) 観賞魚水槽以外でのご使用による故障及び損傷。
   (10) 付属品（インペラー、スピンドル、フィルターケースOリング、吸水口、排水口、フック等）などの消耗による交換。
5. 保証書は再発行致しませんので大切に保管して下さい。
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。

尚、本書ならびに保証書の発行によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＊保証期間外及び保証適用外での修理は有料です。ご不明な場合、お買上げ店または弊社エーハイムサービスセンターにご相談下さい。

輸入発売元：エーハイム ジャパン株式会社

住所：〒261-7112 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-6-1 ワールドビジネスガーデン マリブイースト

【修理・保証サービスなど製品に関するお問い合わせ】

エーハイムサービスセンター（平日 9：00〜17：00 土・日・祝日は休み）

TEL：043-297-3901　FAX：043-297-3531　Eメールアドレス service.center@eheim.co.jp

エーハイム ジャパンホームページ *http://www.eheim.jp*

製品情報、比較テスト、機種別分解図、各種取扱説明書、アクセサリー別の使用方法や分解図などご覧になれます

Jun.2011